

「平成 26年 4～6月期中小企業景気動向調査」調査結果報告
—消費増税直後の調査、5四半期ぶりに悪化—

静岡県西部地域しんきん経済研究所は、県西部地域の中小企業を対象に行った「中小企業景気動向調査」の調査結果をまとめましたのでご報告します。詳細は別添「景況レポート」をご参照ください。

1. 調査概要（調査／静岡県西部地域しんきん経済研究所、協力／浜松商工会議所）

調査時期	平成 26年 6月 2日～9日
調査対象	静岡県西部地域の中小企業 636社
回収状況	回収数 583社（回収率 91.7%）
調査方法	調査表による面接聴取法（遠州信用金庫、浜松信用金庫に委託）

2. 調査結果

①平成 26年 4～6月期の業況について

県西部地域の中小企業の業況判断指数（DI＝「良い」とみる企業の割合から「悪い」とみる企業の割合を引いた数値）は全産業ベースで－15.9であった。消費増税直後の調査であり、平成 26年 3月の前回調査（－0.5）と比べて 15.4 ポイントの悪化となった。ただし、前回調査の 6月見通し（－26.7）ほどの悪化ではない。

②平成 26年 7～9月期の見通しについて

次期業況 DI は 1.5 ポイント悪化の－17.4 となり、2 四半期連続の悪化を見込む。

③主な業種別の動向

業種	調査数	業況DI			動向
		前期	当期	来期見込み	
二輪車部品製造	53	-8.9	-28.3	-18.9	業況DIは19.4ポイントの悪化。売上額、受注残、収益DIはいずれも大幅悪化。次期業況DIは9.4ポイントの改善見通し。
自動車部品製造	67	-7.1	-15.4	-10.8	業況DIは8.3ポイントの悪化ながら、悪化幅は前回調査の6月見通し（－38.6）と比べると小さい。
機械部品製造	63	3.1	-3.2	-1.6	業況DIは6.3ポイント悪化し、マイナスの水準へ。
楽器部品製造	19	-11.1	-15.8	-26.3	業況DIは4.7ポイントの悪化。原材料価格DIは上昇傾向。
繊維製造	25	0.0	0.0	-12.0	業況DIは前回同様0.0、消費増税後ながら景況感は落ち込んでいない。
卸売業	82	-9.3	-25.6	-30.5	業況DIは16.3ポイントの悪化、前回調査の6月見通し（－27.9）と同程度の悪化。
小売業	64	-5.8	-39.1	-37.5	業況DIは33.3ポイントの大幅悪化。前回調査の6月見通し（－36.2）以上の悪化。
建設業	67	25.0	-17.9	-13.4	業況DIは42.9ポイントの悪化、4四半期ぶりに悪化し、マイナスへ転じる。
不動産業	34	17.9	11.8	-8.8	業況DIは6.1ポイントの悪化、悪化ながらプラス水準を維持。
飲食・宿泊・レジャー等	14	-50.0	-7.1	-28.6	業況DIは42.9ポイントの改善。花博効果で業況は大幅に改善。

本件のお問い合わせ先

〒432-8036 / 浜松市中区東伊場 2-7-1 浜松商工会議所会館 9階
静岡県西部地域しんきん経済研究所 / 神谷 / TEL053-452-1510